

営農支援センター四万十株式会社

組織形態：第三セクター、J A 出資法人 取組範囲：四万十町窪川地域（一部、地域外を含む）

法人設立：平成 17 年 9 月 16 日（平成 23 年 4 月に有限会社から株式会社に組織変更）

所在地：高岡郡四万十町黒石 314-1

資本金等：390 万円（四万十町 150 万円、J A 150 万円、3 個人 90 万円）

役員：取締役 4 名（常勤 2 名、うち 1 名は社員兼務）、監査役 2 名

従業員：正社員 5 名、臨時社員 10 名

事業内容

- ・農業生産：WCS 用稲 73ha、大豆 38ha、ショウガ 1.6ha、サトイモ 9a
- ・水稲作業受託：育苗 19,800 枚、耕起 2ha、田植 10.6ha、
稲刈 1.0ha、防除 600ha
- ・中山間地域等直接支払交付金事務

資本装備

- ・施設等：事務所、水稲育苗倉庫、水稲育苗ハウス他
- ・機械等：水稲育苗機械、自動運転トラクター、半自動田植機、防除用無人ヘリ・ドローン
アグリノート他

活用した主な補助金等

- ・国事業：中山間地域等直接支払交付金、スマート農業総合推進対策事業
- ・県事業：複合経営拠点推進交付金、複合経営拠点支援事業、地域営農支援事業
- ・J A 事業：県域企画応援事業

設立の経緯

旧窪川町内で基盤整備事業が進む中、大豆による転作拡大を目的に J A と町の協同運営組織として設立された。



水稻育苗施設

事業戦略

「事業の最適化」「効率化」「有望品目の開発」を図り収支を考慮した効率的な生産で売上を確保するとともに、「雇用と教育」「業務の棚卸しと職務分掌」による組織体制の強化に取り組み、地域の農業を支えることを目指す。

取り組みの特徴

地域からの耕作依頼は多いが条件不利地が大半で、対応できる経営規模として 100ha 程度を維持している。効率的な省力作業を実現するため、スマート農業機械を積極的に導入している。



直進キープ機能付田植機

令和 5 年 6 月現在